

防災分野の情報・広報について

～各フェーズでの広域情報・地域情報～

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
社会防災研究領域 災害過程研究部門

宇田川 真之

災害情報

(平常時、警戒期、応急期、復旧復興期)



- 平常時の情報
 - 防災啓発・教育
- 警戒期の情報
 - 気象警報、避難指示等
- 応急期の情報
 - 被害状況・余震情報等
 - 安否情報
 - 生活支援関連(給水など)
- 復旧・復興期の情報
 - 復興まちづくり、伝承

各フェーズで市民に重要な災害情報(広域、ローカル)

災害情報

(平常時:啓発、事前地域対応)

(3) 南海トラフ地震臨時情報 南海トラフ地震臨時情報について



○「南海トラフ地震臨時情報」とは、

- ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

に、気象庁から発表される情報のこと。

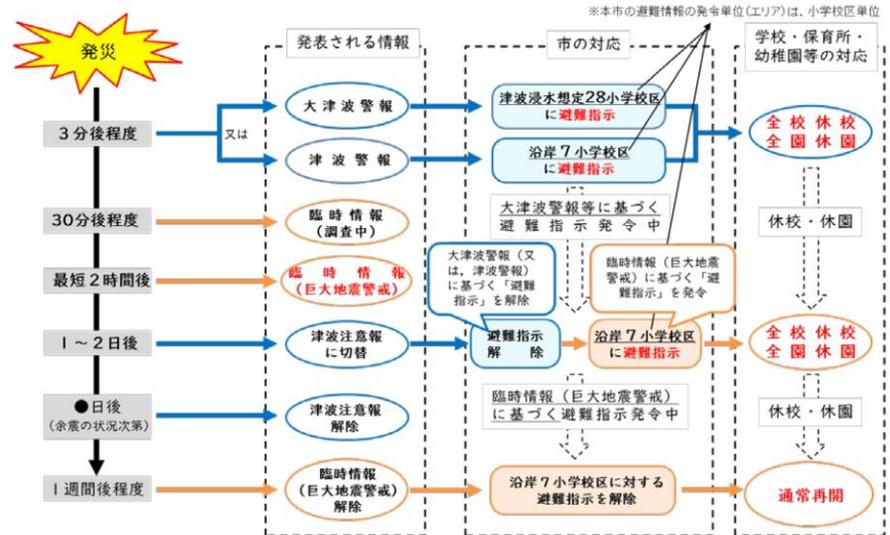
実際は、情報名の後に「キーワード」が付記され、「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」等の形で情報発表される。

南海トラフ地震臨時情報	発表条件
令和7年1月13日発表 調査中	■ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ■ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
巨大地震警戒	■ 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
令和6年8月8日発表	■ 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合 ■ 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	■ ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合
調査終了 令和7年1月13日発表	■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

(出典) 内閣府 防災情報のページ「南海トラフ地震臨時情報が発表されたら!」より
<https://www.bousai.go.jp/jishin/nanka/rinji/index3.html>

広域大規模災害を想定した放送サービスの維持・確保方策の充実・強化検討チーム(第1回)
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/digital_hososeido/02ryutsu09_04000258.html

『「南海トラフ地震臨時情報」に係る防災対応方針』(高知市)
<https://www.city.kochi.kochi.jp/uploaded/attachment/144988.pdf>



青色: 東側で発生した地震に関連した情報及び対応 橙色: 西側で発生するおそれのある後発地震に関連した情報及び対応

全国共通的な防災知識・対策の普及。当該対策に関する各地域毎での取り組みの周知等

災害情報

(警戒期【早期】: 広域情報)



NHK NEWS 速報 台風7号 気象庁と国交省が会見

<https://x.com/shinyahoya/status/1823991741093175394>

車で避難・安全確保※される方へ

※洪水・土砂災害に係る警戒レベル3・4発令時の車による緊急避難及び車内での安全確保

交通事故・避難中の被災にお気を付けください

- 洪水・土砂災害に係る警戒レベル3 (高齢者等避難)の発表と同時に避難するなど余裕を持った行動をお願いします。
- 車で避難できる場所をマップで公開しております。



洪水・土砂災害 警戒レベル

① 情報早期注意	② 大雨洪水注意	③ 避難準備	④ 高齢者等避難	⑤ 命が危険にさらされる
----------	----------	--------	----------	--------------

車で避難・安全確保

URL : <https://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/kurumahinan.html>

車で避難・安全確保※される方へ(長野県)



災害時におけるペットの救護対策ガイドライン(環境省)

広域的な警戒情報(大型台風、遠地津波等)。各地域での細かな避難行動の参考情報

災害情報

(平時～警戒期: 個々人の情報登録)



ひょうご防災ネット スマートフォンアプリ版登場!

「ひょうご防災ネット」は兵庫県および兵庫県内の市・町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関する様々な情報を利用者の方々に提供するサービスです。

いつ発生するかわからない災害に備え、ぜひダウンロードしてください!!

主な機能

いざという時に備え 「マイ避難カード」を作成

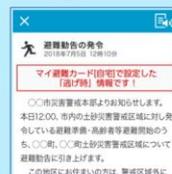


危険性	河川浸水想定区域内
逃げ時は?	避難準備・高齢者等避難開始
避難行動(仮)	大倉山公園に避難
避難行動(仮)	自宅待機

いざというときに、速やかに避難行動がとれるように、学びながら自身で考えた避難行動に移るタイミング(逃げ時)や避難場所をアプリ内「カード」に保存できます。

また、保存した逃げ時に関する情報をプッシュ通知で受け取ると[マイ避難カード]を表示します。

避難に関する情報や各種気象 情報などをプッシュ通知!



主な配信情報

- 兵庫県・市・町からの緊急情報
- 避難関連情報
- 避難所関連情報
- 国民保護に関する情報
- その他緊急の高い情報
- 兵庫県・市・町からのお知らせ情報
- 地震情報
- 津波注意報・警報
- 気象警報・特別警報
- 記録的短時間大雨情報
- 土砂災害警戒情報
- 河川洪水予報
- 竜巻注意情報

http://bosai.net/app_introduction/app_introduction_jp.html

避難場所を地図で検索



(※)避難場所マップは外部サイトです。

12外国語対応

日本語で配信された緊急情報を自動翻訳して表示します。

12言語

- 中国語(簡体字・繁体字)
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- インドネシア語
- イタリア語
- 韓国語
- ポルトガル語
- スペイン語
- タイ語
- ベトナム語

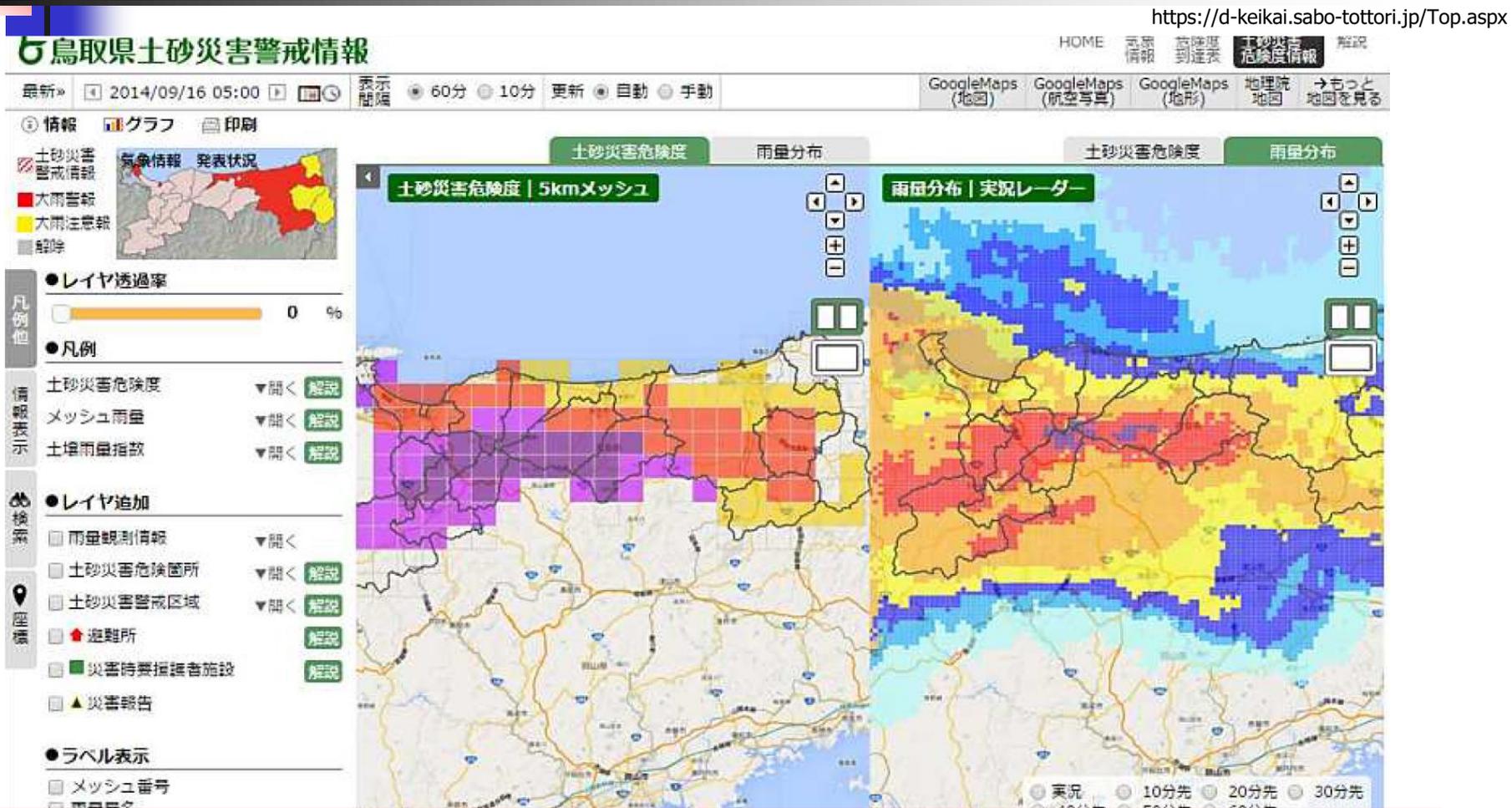
音声読み上げ

スマートフォンの音声読み上げ機能を使い、配信した情報を読み上げることができます。

アプリでは、平時に個々人の設定を登録し、警戒期等の情報と連動

災害情報

(警戒期【切迫期】:通信)



近年に、発表される気象情報は、きめ細かく進化。HP・アプリ等での詳細閲覧

災害情報

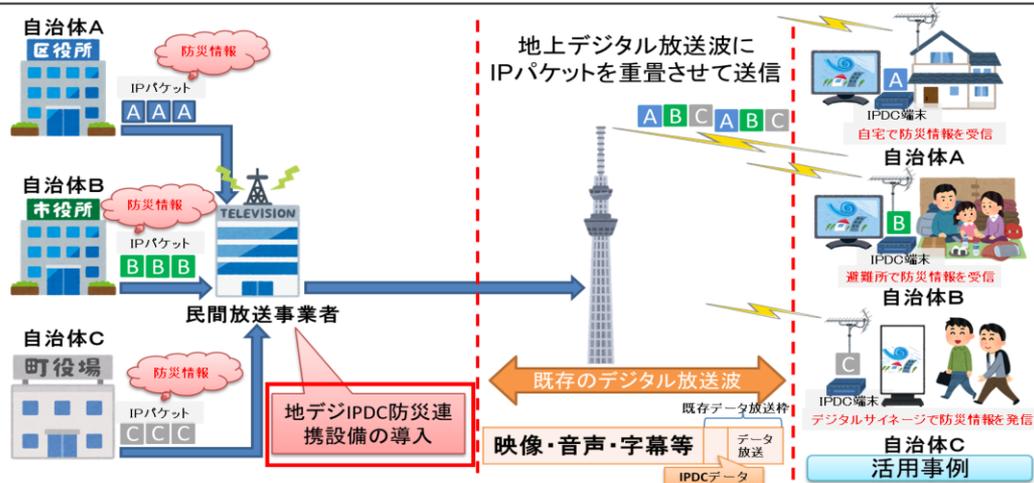
(警戒期【切迫期】: IPDC)

(2) 能登半島地震等被災状況・対応状況

(参考) 放送ネットワーク整備支援事業(地デジIPDC防災連携設備)



地デジIPDC防災システムはIPDC(Internet Protocol Data Cast)技術により、地上デジタル放送の放送波(DATA放送)に様々なIPパケットを載せ、防災情報を送信することで地域の災害情報等の迅速かつ確実な伝達を実現する。災害時、住民が自らテレビ番組から情報収集することに加えて、IPDCを活用することで、各自治体がそれぞれのタイミングによって発信する、より地域に合ったきめ細やかな情報を、プッシュ型で受け取ることができる。



IPDC端末として活用するほか、防災行政無線のように屋外スピーカを通じ特定の地域に一齐同報することも可能。

地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段のガイドライン策定等に係る検討報告書
参考資料(消防庁)



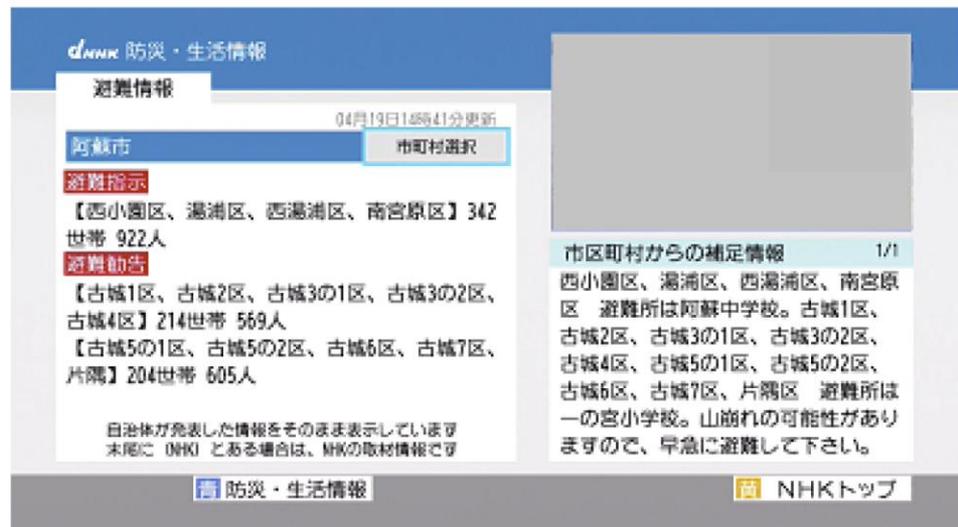
広域大規模災害を想定した放送サービスの維持・確保方策の充実・強化検討チーム(第1回)
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/digital_hososeido/02ryutsu09_04000258.html

放送波でも、きめ細かな情報の伝達が可能に(機器の制御等も)

災害情報

(警戒期【切迫期】:CATV等)

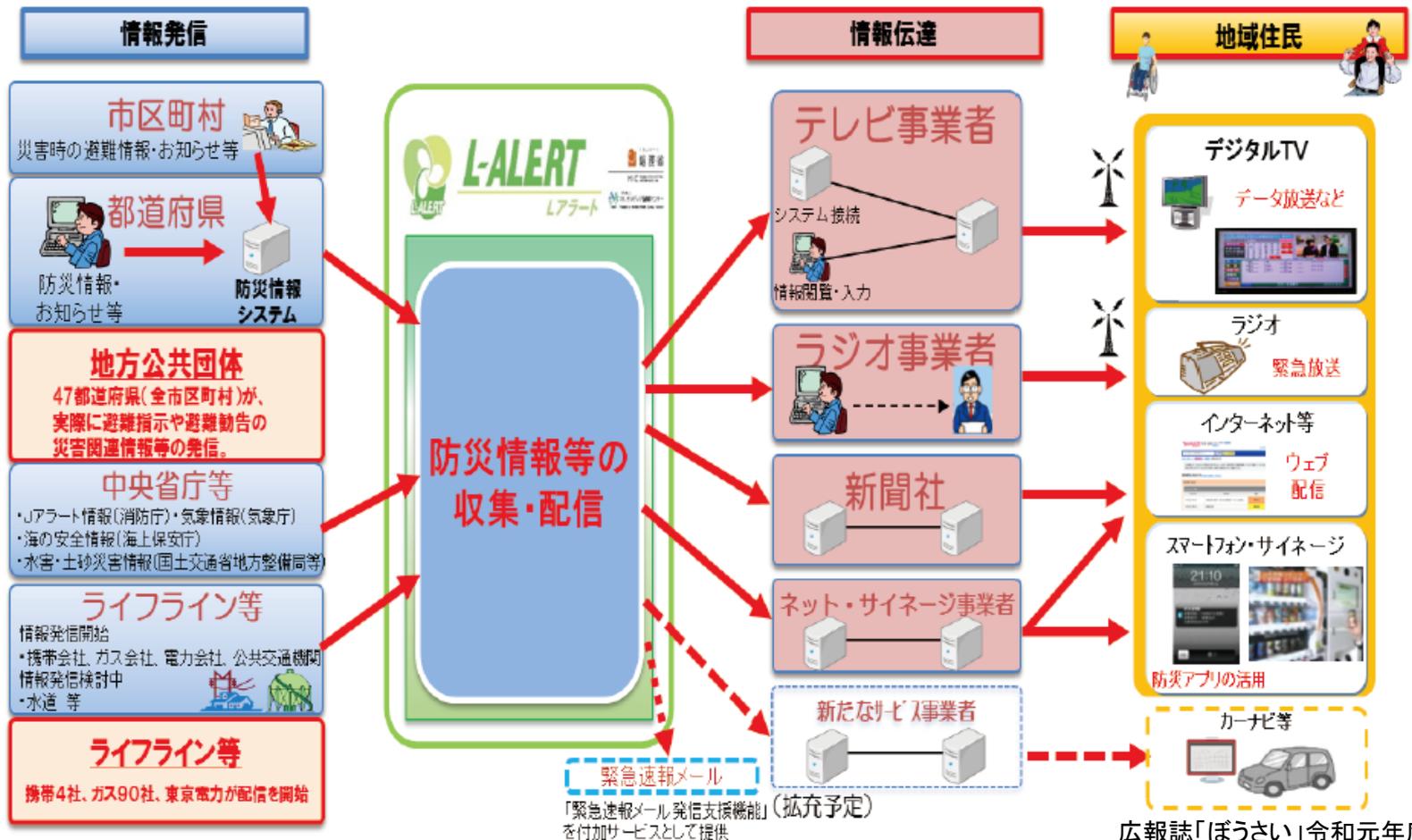
地上デジタル放送を活用した災害・防災情報提供に関する検討会報告書(NHK京都 画面イメージ)



「Lアラートの現状」(総務省) 今後のLアラートの在り方検討会配布資料

居住地近くの危険性(画像・水位・雨量などで分かりやすく)、避難情報をきめ細かく伝達

放送局等の間での 情報共有プラットフォーム



放送局等の間での 情報共有プラットフォーム

従来のLアラート:テキスト情報を配信

① スマートフォン



ヤフー(株)

NHK

② テレビ



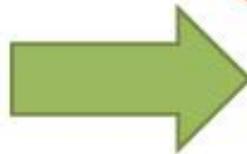
NHK

Lアラート情報の地図化による配信(イメージ)

① スマートフォン

※平成30年度実証実験のもの

自己の位置情報を表示することも可能

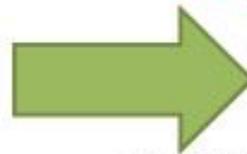


地図上で表示

② テレビ

ファーストメディア(株)

危険度に応じた発令区分の色分け表示も可能



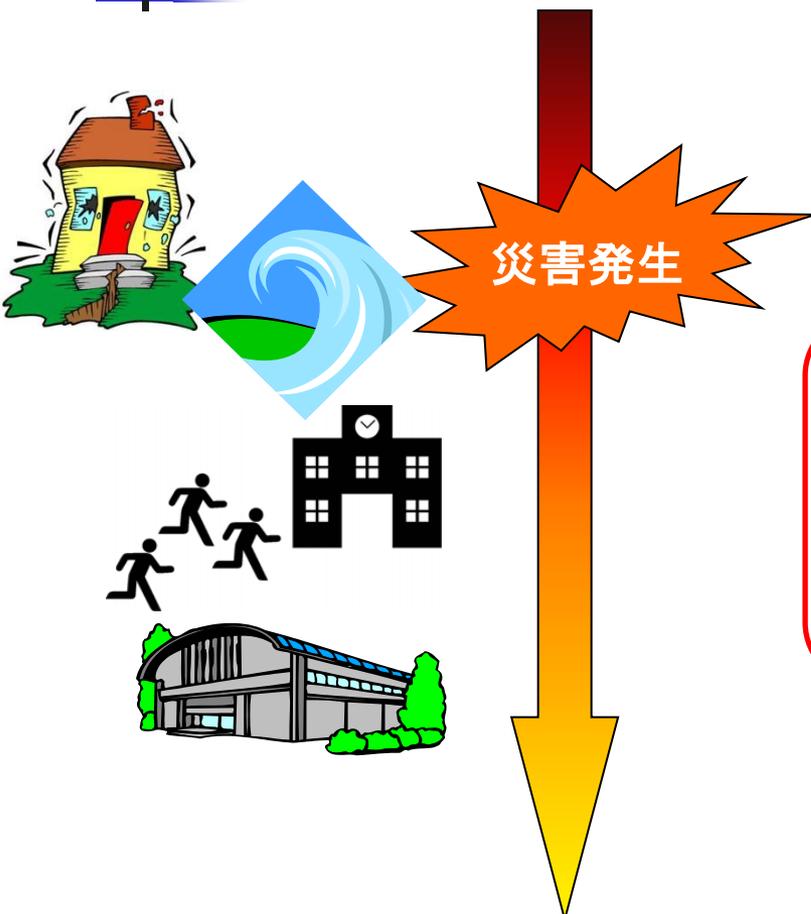
地図上で表示

(色分けの例)
赤:避難指示
橙:避難勧告
黄:避難準備

ジャパンケーブルキャスト(株)

災害情報

(平常時、警戒期、応急期、復旧復興期)



- 平常時の情報
 - 防災啓発・教育
- 警戒期の情報
 - 気象警報、避難指示等
- 応急期の情報
 - 被害状況・余震情報等
 - 安否情報
 - 生活支援関連(給水など)
- 復旧・復興期の情報
 - 復興まちづくり、伝承

各フェーズで市民に重要な災害情報(広域、ローカル)

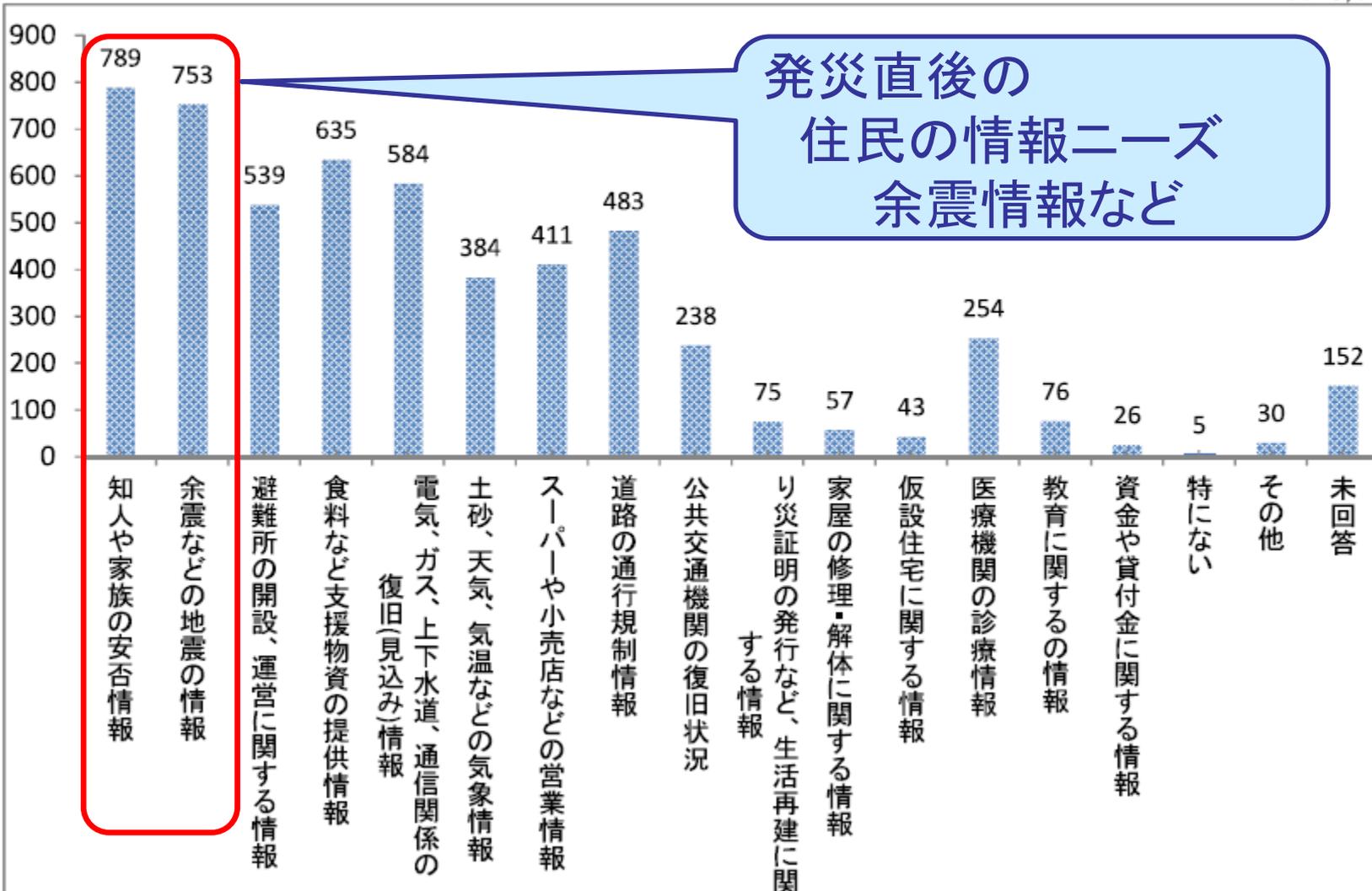
【参考】問16① 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後3日まで)(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後3日まで) (郵送)

N=1,177

発災直後の
住民の情報ニーズ
余震情報など

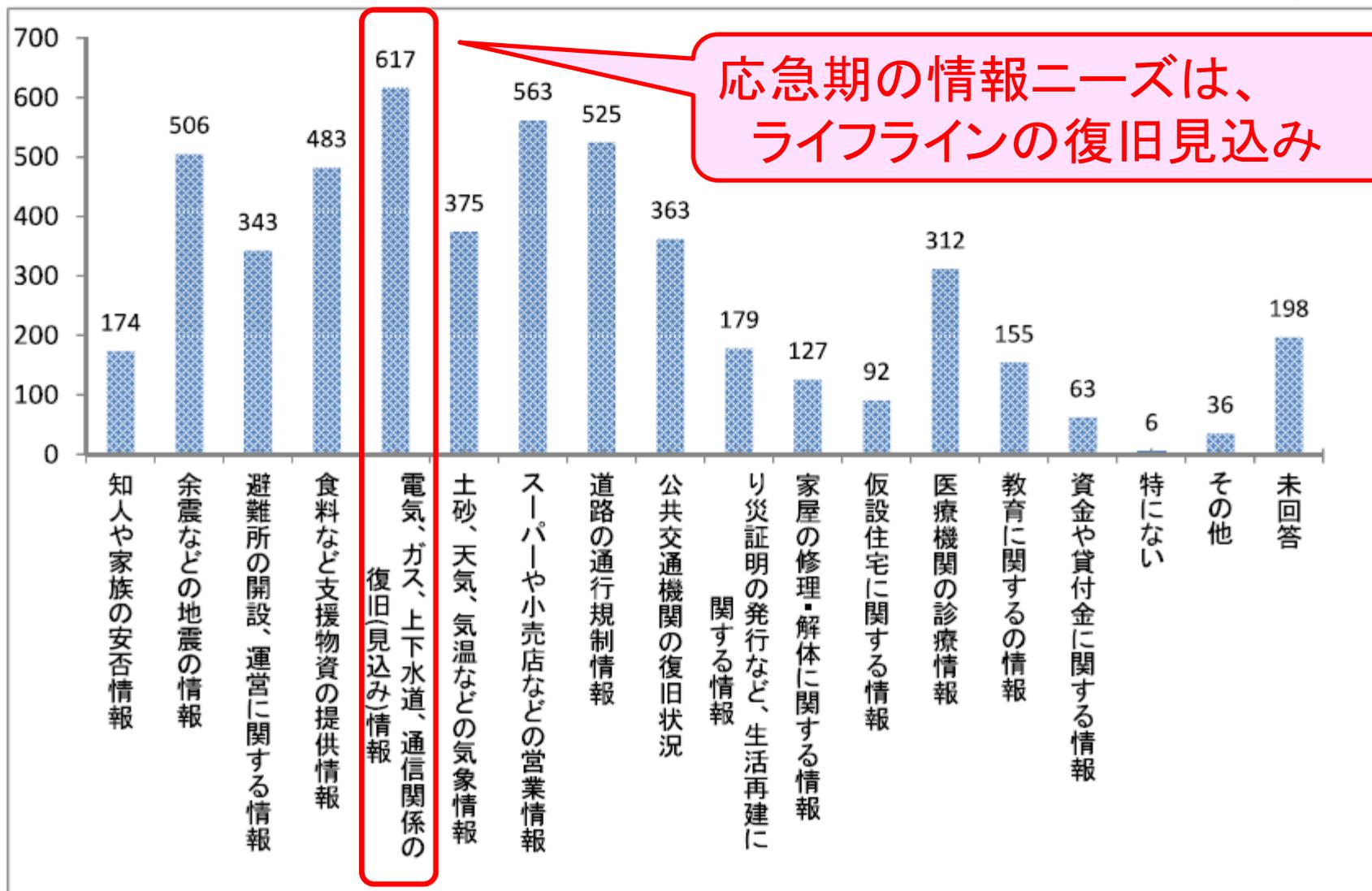


【参考】問16② 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。必要な情報(震災後3日から10日まで)(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後3日から10日まで)(郵送)

N=1,177



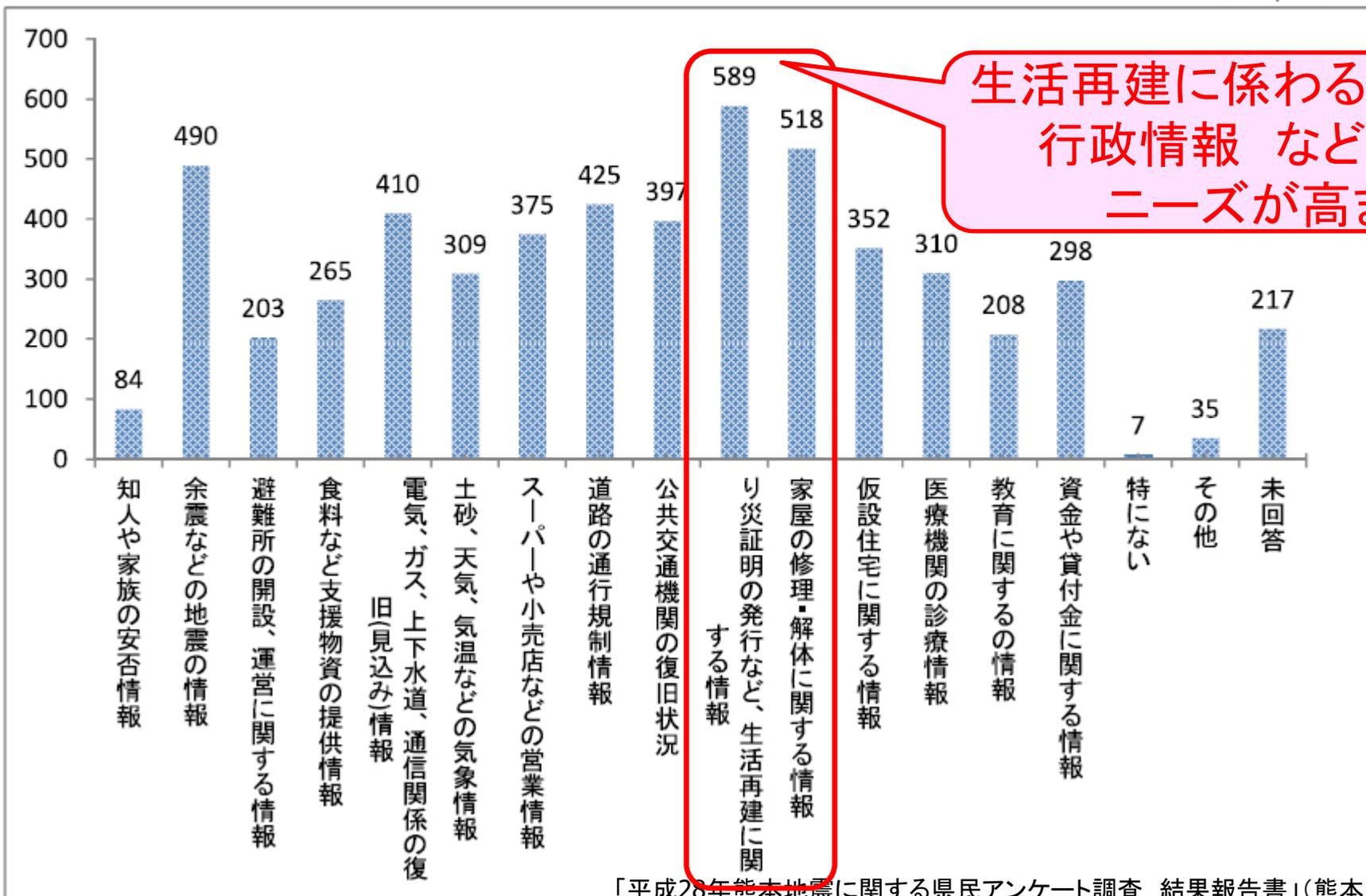
応急期の情報ニーズは、
ライフラインの復旧見込み

【参考】問16③ 避難所や自宅で生活する中で、特に必要と感じた情報はどれですか。(震災後10日から1ヵ月まで)(複数回答)

郵送回答の方(1,177人)にお聞きしています。

必要な情報(震災後10日から1ヵ月まで)(郵送)

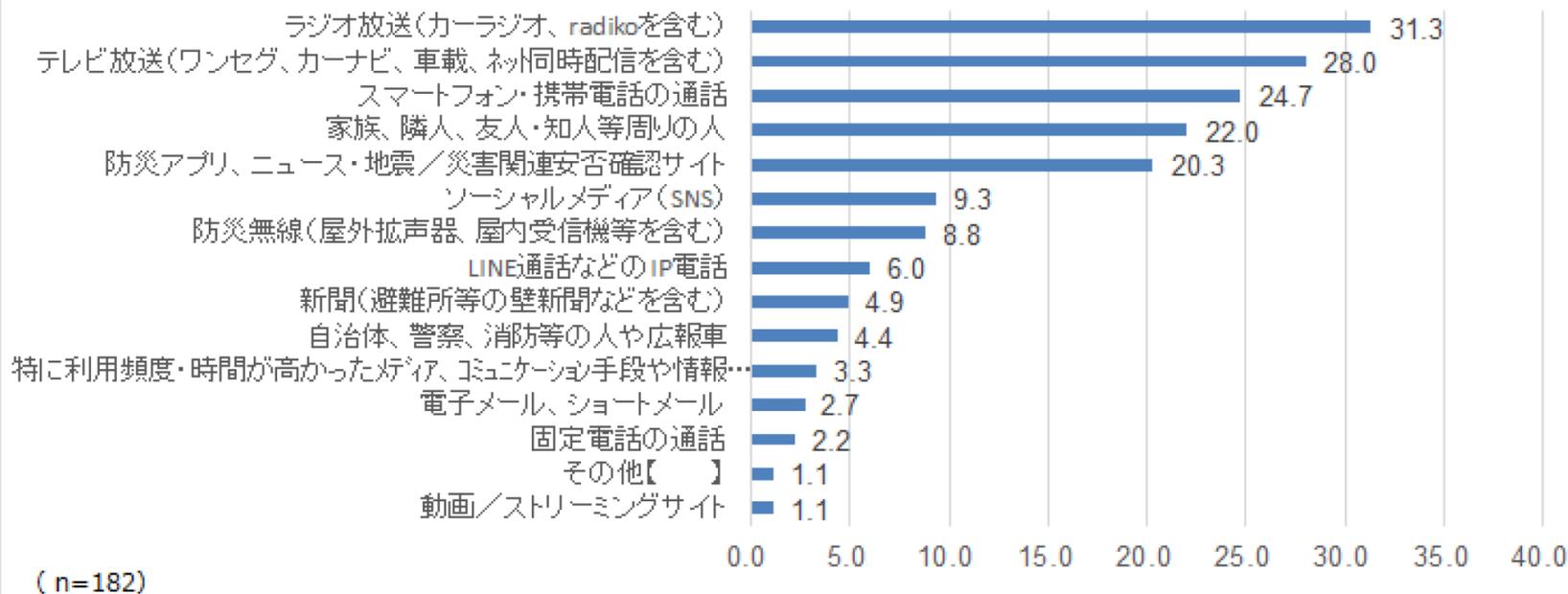
N=1,177



応急期：放送サービスの維持・確保 (放送設備の維持・応急確保)

停電時に利用頻度・時間が多かったメディア・コミュニケーション手段

地震後に停電が発生していた間、特に利用頻度や利用時間が多かったメディア、コミュニケーション手段や情報源をお答えください。(複数回答、“地震後1週間の期間内に、自身がいた場所に停電があった”とした人での回答率:%)



能登半島地震時のメディアの役割に関する総合調査報告書(日本民間放送連盟 研究所)

停電時における情報伝達媒体としての放送(ラジオ等)の有用性

応急期：放送サービスの維持・確保 (放送設備の維持・応急確保)

避難所でできること（災害救助法の対象となるもの）

避難所の運営等について、災害救助法に基づく国庫負担の対象となる一例を以下に紹介する。

なお、各市町村において、判断に困った時は、災害救助法に基づく救助の実施主体である都道府県または救助実施市に相談願いたい。

主に生活環境の整備に関すること

- 窓素材としての畳、カーペットのレンタル※、プライバシー保護のため等の間仕切り設備、環境整備のための段ボールベッド等の購入
- 避難所環境整備のための冷蔵庫、洗濯機、乾燥機、掃除機等のレンタル※
- 被災者のためのタオル、下着類、歯ブラシ、消毒液、石鹸、生理用品、市販薬等の購入、携帯電話の充電器等のレンタル※

主に衛生及び暑さ対策に関すること

- 被災者用の仮設風呂、簡易シャワー室、仮設ランドリー（洗濯機、乾燥機）、仮設トイレ、授乳室の設置
- 仮設風呂等ができるまでの間、入浴施設への送迎と入浴料の支払い
- 暑さ対策として、エアコン、扇風機等のレンタル※

主に避難所の設置に関すること

- 障害者、高齢者等のためのスロープ仮設置
- 情報収集等のためのテレビ等のレンタル※

主に食事に関すること

(温かく栄養バランスのとれた食事のために)

- 保健師、栄養士、調理師等の炊き出しスタッフの雇い上げ
- 炊き出しのための食材、調味料、調理器具の購入、炊事場の確保や簡易調理室の設置（一つの調達先に頼って食材が偏ることがないように注意）
- 被災者用の弁当等の購入

主に要配慮

- 高齢者用おむつの購補聴器、車いす、酸素
- 粉ミルク・液体ミルク購入
- 翻訳機器のレンタル

※ レンタルが困難な場合は購入しても差し支えない。
なお、購入した器材（物）は、原則として残存資材等として換価処分すること。当該収入金額は避難

災害救助法の制度概要(令和5年6月版)

- ・受信端末の確保
- ・従前の放送の維持
- ・新規の臨時放送の開始

災害救助事務取扱要領(令和5年6月)

キ 市町村（都道府県）は、発災後に法による避難所を設置した場合、被災者への情報提供や被災者相互の安否確認、避難所外被災者の情報入手を行うため、避難所にラジオ、テレビ、電話、ファクシミリ、パソコン等の通信手段を設置すること。

また、機器に不慣れな高齢者・障害者等についても、情報ボランティアとの連携、協力等により情報に接することができるようにするとともに多様な情報伝達手段を講じるなどの配慮をすること。

ク 市町村（都道府県）は、法による避難所を設置した場合、避難所に対して、各種の避難生活に必要な情報、生活復旧に関する情報等、できる限り被災者に必要な情報の提供が図られるよう努めること。被災者に対する情報提供は、他の救助と比較して、ややもすれば緊急性の低いものと考えられがちであるが、被災者の不安感の軽減を図り、円滑な復旧・

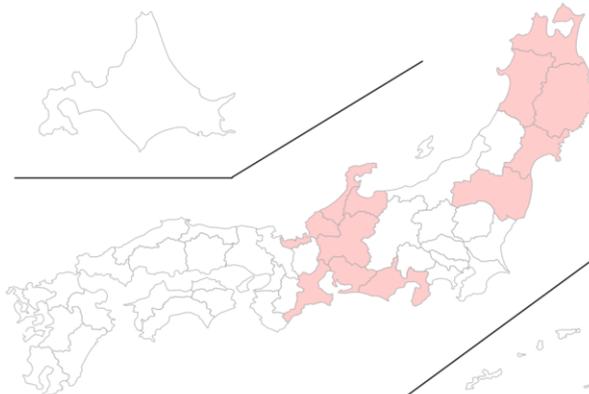
応急期：放送サービスの維持・確保 (放送設備の維持・応急確保)

(2) 能登半島地震等被災状況・対応状況 リエゾン派遣の取決

- 能登半島地震を踏まえた対応として、能登半島地震の被災地である石川地域協議会に所属する放送事業者で議論を行い、令和6年8月23日にリエゾン派遣の取決が行われた。
- 9月20日豪雨対応において、その取り決めに基づき、9月23日にNHK及び民放から石川県庁災害対策本部へリエゾンを派遣された。
- 今年度中に、全放送対象地域において議論を行う予定。

リエゾン派遣の取決締結状況

- ・令和6年8月 石川県
- ・令和6年12月 秋田県、福島県、静岡県、
中京(岐阜県、愛知県、三重県)
- ・令和7年1月 青森県、岩手県、宮城県、富山県、福井県



※着色箇所は、リエゾン派遣の取決がなされた県(令和7年1月20日時点)

(参考)石川県リエゾン派遣の取決

リエゾン派遣の取り決め

～ 中継局共同利用推進石川地域協議会運営委員会において議論 ～

2024. 8. 23 (金)
NHK 金沢放送局
北陸放送株式会社
石川テレビ放送株式会社
株式会社テレビ金沢
北陸朝日放送株式会社

1 非常災害発生に伴い停波又は停波のおそれのある局がある場合は、原則、その局の幹事たる民間放送事業者及びNHKから、それぞれ1名(計2名)を災害対策本部に派遣することとする。ただし、当該民間放送事業者からの派遣が困難な場合にあつては、民間放送事業者間において相談の上、派遣する民間放送事業者を決定する。

2 1によって派遣されてからの期間が長期(概ね1週間超)となる場合にあっては、民間放送事業者においては、当該事業者間において相談の上、幹事社以外の民間放送事業者から派遣するなど、柔軟な対応を行うこととする。

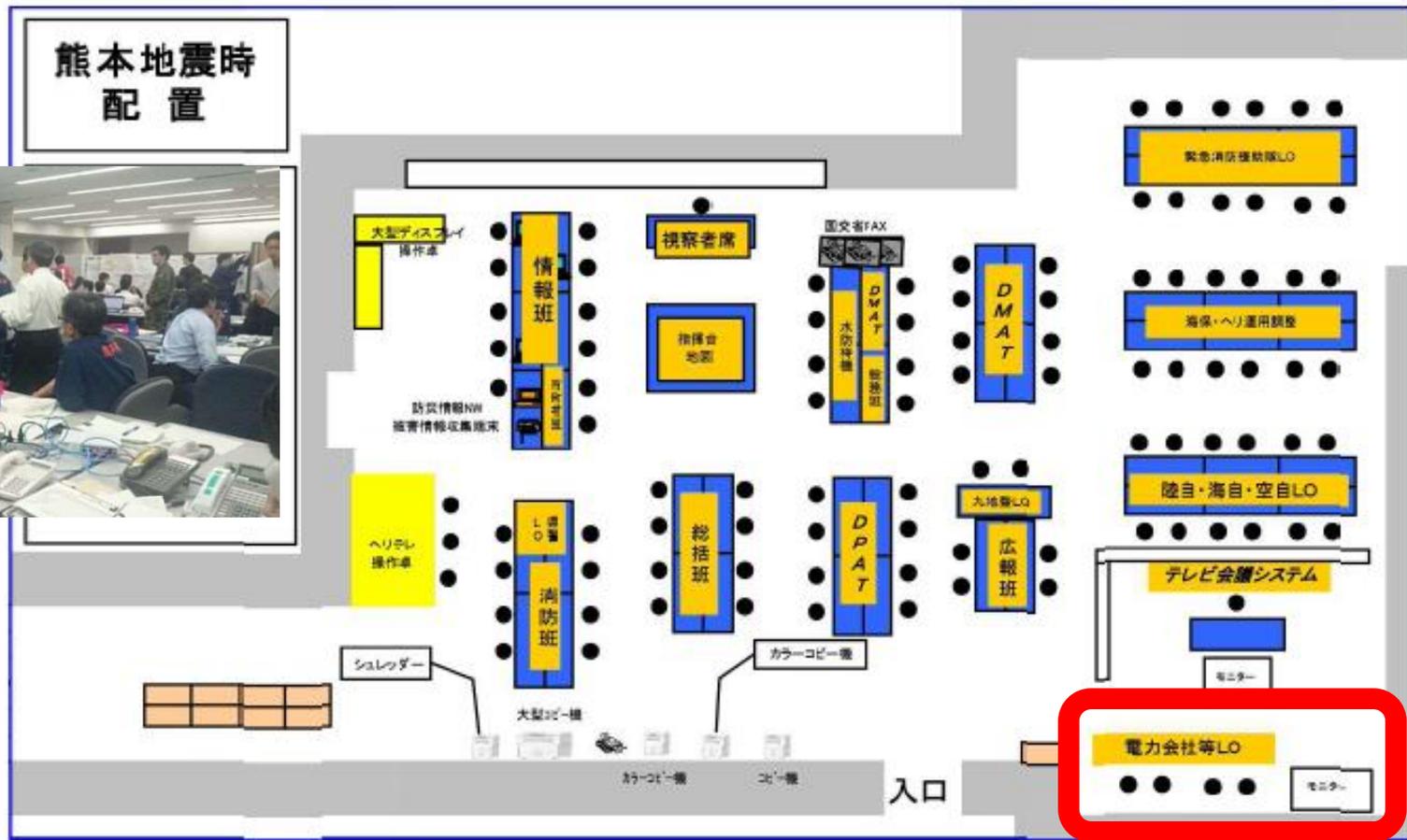
3 1又は2によって派遣された民間放送事業者若しくはNHKが、停波の解消又は停波のおそれが低減したことにより、災害対策本部への派遣の継続を不要と判断した場合は、災害対策本部への派遣を終了することができる。

応急期：放送サービスの維持・確保

(都道府県災对本部のライフライン機関LO)

熊本地震の概ね3か月間の対応に関する検証報告書(熊本県)

熊本地震時 配置



他ライフライン分野(電力等)での被災都道府県庁へのリエゾンの派遣・協力

応急期：放送サービスの維持・確保

（都道府県災对本部のライフライン機関LO）

停電復旧における関係者との連携

令和6年3月21日 第20回
電気設備自然災害等対策WG資料1-1より抜粋

- 北陸電力送配電では、必要に応じて道路管理者（北陸地方整備局、地元自治体）の道路啓開作業に同行、電力線の加圧状況を確認し、作業安全を徹底。
- 電力及び通信設備の効果的な復旧作業のため、北陸電力送配電は、道路管理者の協力を得て、随時道路情報の共有を図るなど緊密に連携。
- アクセス困難な箇所については、海上保安庁（七尾港から輪島港へ輸送）、自衛隊（舢倉島へ輸送）の協力を得て、作業員等を迅速に派遣。
- 停電長期化のおそれがあるエリアについては、地元自治体との情報交換をもとに、電源車の派遣等に対応。その際、電源車等の作業車両の通行には、道路幅約2.5mの確保が必要であることから、アクセス可否についても確認。

北陸電力・北陸送配電と関係者間の連携協定

締結相手	連携内容
第九管区海上保安本部	<共通> <ul style="list-style-type: none"> ・平時の訓練等による相互連携の強化 ・復旧要員及び資機材の搬送 ・災害対応に必要な施設や拠点の提供と電源供給 <自衛隊> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応に必要な道路等の確保
陸上自衛隊中部方面隊	
石川県	<ul style="list-style-type: none"> ・平時からの連絡体制の確立と重要施設情報の共有 ・県管理道路上の電力設備に関連した支障物撤去における連携 ・電力復旧のために必要な道路啓開の要請 ・電源車配置先の協議

「令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応検討ワーキンググループ」（第2回）資料1-3（経済産業省）
（出典）北陸電力(株)及び北陸電力送配電(株)ホームページをもとに経済産業省作成

LOの活動（官民・異種ライフラインの間での応急復旧の活動方針の調整）

応急期：放送サービスの維持・確保 (他のライフラインでの取組事例)

1. 連携計画について

3

- 一送各社は非常災害時の相互応援体制を従前より構築し、災害対応実績を踏まえ改善を図り（平成30年台風21号・24号被害を踏まえたプッシュ型応援の導入等）、各種連携を強化してきましたが、昨年の災害対応を通じ新たな課題が明らかになりました。
- 令和元年台風15号・19号等における停電長期化の検証の取りまとめ結果を受け、非常災害時の復旧応援に関する一送間の連携、非常災害時・平時の一送と関係機関（地方自治体、自衛隊等）との連携および非常災害時に備えた一送各社共通の取り組みを連携計画に反映いたしました。

□ 連携計画に記載する具体的事項

(2020年1月電力ガリインWG 台風15号の停電復旧対応等に係る検証結果取りまとめ)

- ① 一送間の共同災害対応
- ② 復旧方法、設備仕様等の統一化
- ③ 各種被害情報や電源車の管理情報等を共有する情報共有システムの整備
- ④ 電源車の地域間融通を想定した電源車の燃料確保
- ⑤ 電力需給及び系統の運用
- ⑥ 関係機関との連携（地方自治体、自衛隊、通信・電気工事業界等）
- ⑦ 共同訓練

災害時連携計画について(中国電力)

<https://www.energia.co.jp/nw/company/activity/disaster/pdf/saigaijirenkei.pdf>

災害対応での組織関連の様態 (リモート支援、リエゾン、PT等)

■ 横断的組織関係の創造 (Galbraith、1973)

創造・運用コスト

- ① 関係機関間での情報連絡の促進
様式定型化・リモート支援
- ② 専任の連絡役を配置
情報連絡員、リエゾンオフィサー(LO)
- ③ 一時的なタスクフォースの結成
応急業務担当チーム(救援物資等)
- ④ 常設チームの新設
復興対策室

組織間調整のための
情報処理の改善

突発的事象である災害対応での、分野横断的な業務対応のための段階的な組織連携形態

災害対応での組織関連の様態 (広報広聴業務でのリモート支援)

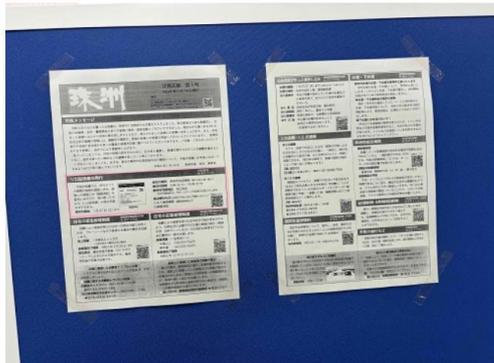
KOBE

検索

ホーム > 防災 > 緊急・災害情報 > 能登半島地震への支援 > 広聴・広報支援の派遣【能登半島地震】

広聴・広報支援の派遣【能登半島地震】

最終更新日：2024年3月22日



https://www.city.kobe.lg.jp/z/shichoshitsu/r6noto_kouhou.html



<https://kobe-note.jp/n/neff179e4819b>

行政広報広聴業務における、遠隔支援(能登半島地震:珠洲市への神戸市の支援)

応急期：放送サービスの維持・確保 (臨時手段の導入：臨時災害放送局)

互理町災害ラジオ

FM あおぞら

79.2 MHz

FM あおぞらは、互理町長を放送局長とする臨時災害放送局です。互理町の 防災無線の内容を約2分後に繰り返しお伝えしています。防災無線が聞こえない場合には、FM あおぞらをお聞きください。

放送時間：午前8時～午後7時
専用電話：0223-32-2293
2時間ごと・情報をお知らせしています。みなさまからの情報もお持ちしています。
場所：役場本庁舎前 案内所プレハブ内



東日本大震災に際し開設された臨時災害放送局の開設状況図



<https://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/rinziFM.html>

国土地理院承認平14地複第149号
白地図KenMapの地図画像編集

臨時災害放送局の設置・運営(CFMから、新規開局)

応急期：放送サービスの維持・確保 (臨時手段の導入：臨時災害放送局)

平成25年7月29日

中国総合通信局

島根県西部の豪雨に係る島根県鹿足郡津和野町の臨時災害放送局(FM放送)の開設

中国総合通信局(局長：齊藤一雅)は、平成25年7月28日に島根県鹿足郡津和野町から申請のあった臨時災害放送局(FM放送)に対して、臨機の措置により平成25年7月29日付けで免許しました。
同町では、7月29日午前9時頃から放送を開始しています。

免許人	津和野町	
開設の目的	豪雨による被災者等に対し、次のようなきめ細かい情報を提供する。 ・災害対策情報 ・道路交通情報等生活関連情報	
周波数等	呼出名称	つわのちょうさいがいエフエム JOYZ8MA-FM
	周波数	80.1MHz
	空中線電力	100W
	放送時間	常時
設置場所	送信所	シマネケン カノアシク`ンツワノチョウ ワシハラ 島根県鹿足郡津和野町鷺原イ256 道の駅津和野温泉なごみの里から1Km西方の県道13号線路上
	演奏所	シマネケン カノアシク`ンツワノチョウ ニチハラ 島根県鹿足郡津和野町日原54番地25 サンセットにちハラ



https://www.soumu.go.jp/soutsu/chugoku/hodo_2013/01sotsu08_01000099.html

臨時災害放送局と通信等との連携 (情報基盤経由での素材共有)

ラジオ原稿(生活支援情報)を、Lアラート経由で
TVデータ放送画面、スマホアプリ、HP等の素材として提供
(益城町、朝倉市など)

市町村からのお知らせ
益城町

り災証明の発行

本日20日より、グランメッセ熊本駐車場南側に設置する特設テントにおいて、り災証明書の交付を開始します。

なお、交付開始の期日につきましては、地区ごとに異なります。申請をされた方々には、別途、通知いたしますので、送られてきた通知に記載してある期日にご来場ください。

なお、現在決定している地区および期日は次の通りです。

→次ページへ

益城災害 FM
水道課からのお知らせ
応急仮設住宅の建設と募集開始
粉じんへの対策
り災証明の発行

防災・生活情報 市町村選択 NHKトップ

防災情報 履歴を表示する

【日田市】災害ボランティアの皆さんへ 高速道路料金の減免について
2017年07月20日 16時28分
【日田市】災害ボランティアの皆さんへ 高速道路料金の減免について

【日田市】健康保険証を、紛失(流出)したり、家庭等に残したまま避難している方へ
2017年07月20日 16時23分
【日田市】健康保険証を、紛失(流出)したり、家庭等に残したまま避難している方へ

【日田市】住居に流入した障害物(土砂等)の撤去について
2017年07月20日 15時52分
【日田市】住居に流入した障害物(土砂等)の撤去について

【日田市】市税の災害減免等についてのお知らせ
2017年07月20日 15時48分
【日田市】市税の災害減免等についてのお知らせ

【日田市】被災住宅の応急修理について
2017年07月20日 15時44分
【日田市】被災住宅の応急修理について

戻る アプリ履歴

【日田市】被災住宅…

【日田市】被災住宅の応急修理について 2017年07月20日 15時44分

生活情報 被災者支援
【日田市】被災住宅の応急修理について

7月5日からの大雨による災害のため、住宅が半壊又は大規模半壊の被害を受け、被災した住宅の居室、台所、トイレ等日常生活に必要な最小限度の部分を応急的に修理する必要がある人は、まずは市へご相談ください。 ■対象となる人・今回の災害により住宅が半壊又は大規模半壊した人・応急仮設住宅(みなし仮設)等に入居していない人・修理した住宅での生活が可能と見込まれる人・自ら修理する資力のない人(半壊の人) ■応急修理の範囲 住宅の応急修理の範囲は、屋根等の基本部分、ドア等の開口部、上下水道等の配管・配線、トイレ等の衛生設備の日常生活に欠くことのできない部分であって、緊急に応急修理を行うことが適当な箇所・災害の被害と直接関係ある修理のみが対象

戻る アプリ履歴



臨時災害放送局の放送原稿等を、Lアラート経由で、各事業者の放送素材等として活用

災害情報

(平常時、警戒期、応急期、復旧復興期)



- 平常時の情報
 - 防災啓発・教育
- 警戒期の情報
 - 気象警報、避難指示等
- 応急期の情報
 - 被害状況・余震情報等
 - 安否情報
 - 生活支援関連(給水など)
- 復旧・復興期の情報
 - 復興まちづくり、伝承

各フェーズで市民に重要な災害情報(広域、ローカル)

災害情報

(復旧復興期:地域コミュニケーション)

■ 「広報広聴 (Public Relation)」

井之上喬(2006)を簡略化

- 個人と組織の目標を達成するための、「倫理観」に支えられた「双方向コミュニケーション」と「自己修正」をベースとしたリレーション活動

■ 「行政広報」

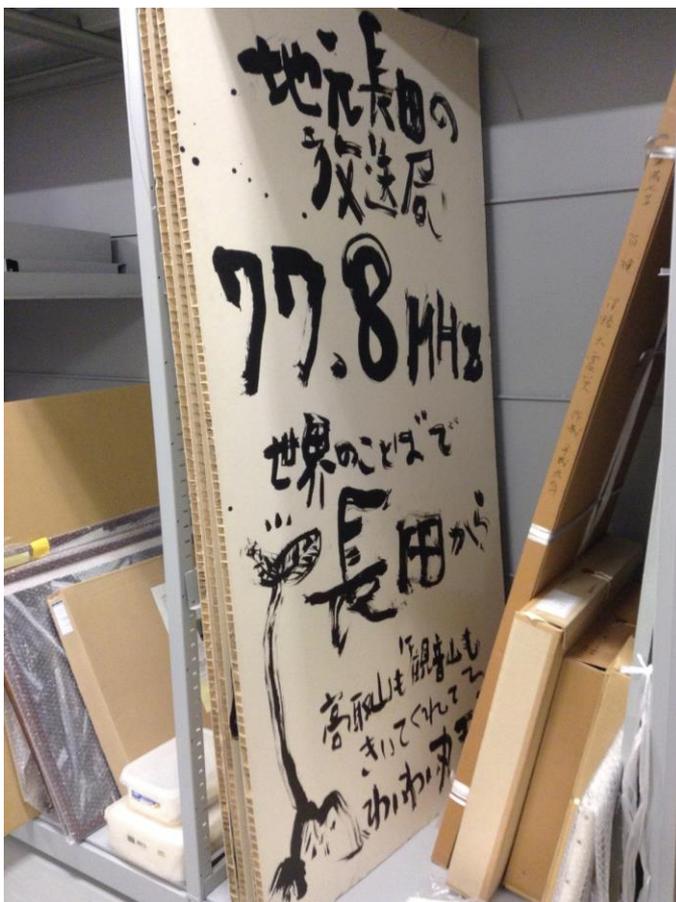
佐藤(2003)を簡略化

- 正しい情報提供
- 公共のために
- 市民の立場で
- 双方向コミュニケーション

	広報広聴 (Public Relation)	宣伝 (Propaganda)	広告 (advertisement)
機能	納得	操作	説得
目的	信頼性の創出	所期決定の受容	特殊性の演出
心的作用	信頼性の向上	脅迫的・恩遇的	好意的

災害情報

(復旧復興期: 地域コミュニケーション)



1995年、神戸 長田

「あの震災から
生まれた放送局だから、
ラジオの力を知ってる。」

阪神淡路大震災のときFMわいわいは、
こぼれわからない外国人住民のために
災害情報を多言語で放送しました。

阪神淡路大震災発生時のカトリックたかとり教会(神戸市長田区)敷地内、
のちにFMわいわいはこの敷地内で放送を開始することになる。

FMわいわいは、
知ってた？
ふつうの放送局と
ちょっとちがいます。

コミュニティに開かれている
NPOの放送局です。

コミュニティ放送を通じて
街にはさまざまな文化背景を
持った人がいることを伝えていきま
す。

災害で被災した外国人へ向けた、
多言語で構成された災害情報コンテ
ンツを制作します。

どもするとかき消されがちな
外国人住民や障害者など、
少数者の声を地域の人々に伝えま
す。

最近の FM わいわいの活動



東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市のフィリピン人
女性によるラジオ放送をリポート。

<https://tcc117.jp/fmyy/>

20:10

PINOY RAP
月1回 バヤニハン気仙沼ラジオ

タグログ語番組「PINOY RAP」。
バヤニハン気仙沼ラジオは、
気仙沼市在住のフィリピン人コミュニティ
「バヤニハン国際友の会」のメンバーが担
当する番組。

マイペライサイサイ
(第1~3回) 出演 ケット/シュウ/ボ

「マイペライサイサイ」はタイ語番
組。
バンコクのケット、神戸のシュウ、ボの3
人をSkypeで結んでお送りします。

14:30

ヨボセヨ

(再放送)
韓国朝鮮語と日本語による番組「ヨボセ
ヨ」。
楽しいおしゃべりと韓国朝鮮語の音楽を
お届けします。

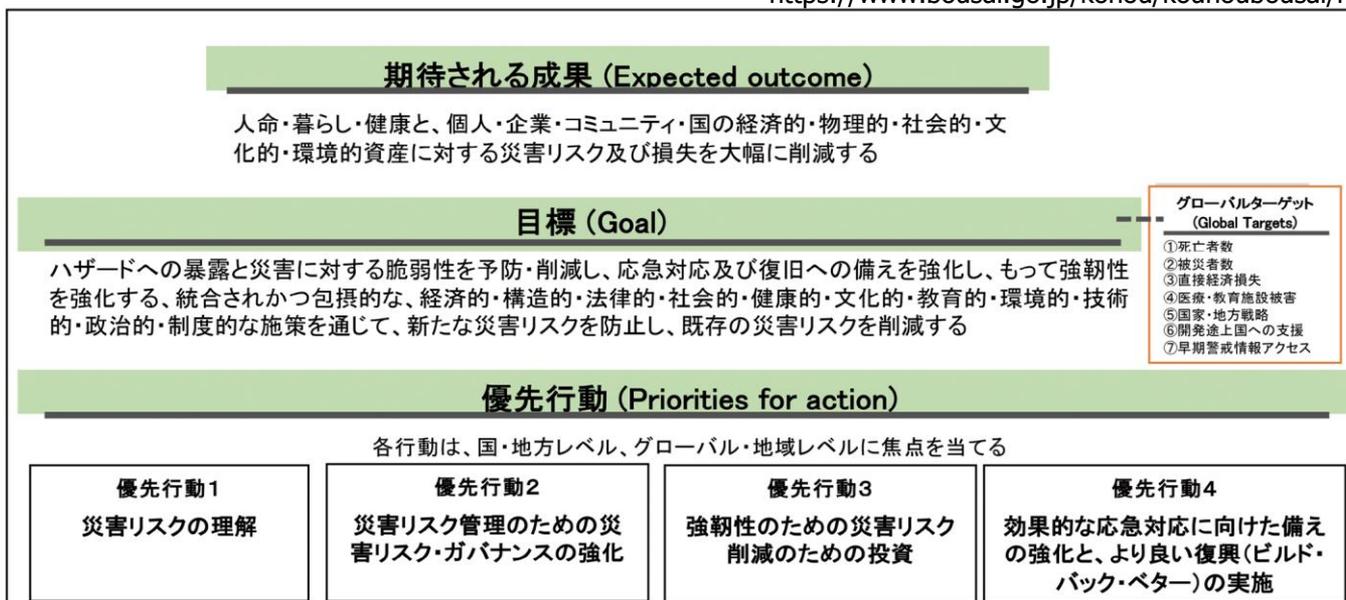
出演: K-コリア) 金明朝/まっちゃん
C-コリア) そら/電波ジャック丸尾

仙台防災枠組 2015-2030

「仙台防災枠組2015-2030」

平成27年3月18日
「第3回国連防災世界会議」にて採択

https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/r05/107/news_01.html



- 災害リスク削減には、マルチハザードアプローチと、性別／年齢／障害等により分類されたデータのオープンな交換と普及や、伝統的知識により補完され、アクセスしやすく、最新の、包括的で、科学に基づいた、機密性のないリスク情報に基づいた、包摂的な意思決定が必要である。

災害の事前検討から応急期、復旧復興期を通じて広域・ローカル放送の社会的役割は重要